

「4年3組色につなぐ！つながる！滝頭熱ネットワーク！伝えよう！すてきなまち！滝頭リサーチ！」（総時数50時間）

<理科から再発見>（16時間）

○「滝頭校庭しぜん体験博物館をつかって、全校に学校の魅力を伝えよう！」

1 様々な生き物と出会いに、校庭へ生き物調べに出かける。

カラスと校庭を散歩したよ。

噴水には、メダカやヤゴがいて、ハスの花も咲いていたよ。

松井さんの夏みかんもあったよ。

2 出合った生き物について、色、形、大きさ、におい、さわった感じ等の観点に沿ってまとめる。

3 どこで、どんな生き物に出合ったか、観察カードを整理・分析し、「滝頭校庭しぜん体験博物館マップ」にまとめる。

プールのヤゴを救出して、トンボにかえしたいな。

ヤゴとふれ合えるタッチプールをつくりたいな。

ここは入ることがないぞ。「トトロのけもの道」と名付けよう！

4 さらに追究したい生き物を選び、「生きペディア」にまとめる。

5 読書週間で図書室に「滝頭校庭しぜん体験博物館マップ」と「生きペディア」を掲示して、全校に発信する。

学校の校庭には、たくさんの生き物が集まるよ。

獲得した10万円で噴水を修理したい！

今度は、甲虫ビオトープや鳥のえさ台、巣箱を作りたいな。

<国語との関連を重視>（12時間）

○池のまわり全部塗る！池をすてきに施そう！

1 10万円で池を修理することを確認する。

2 池のデザインを話し合う。

ペンキでカラフルにしたい！

地域（学校）の魅力が詰まった言葉を入れよう！

生き物が集まるから、それを見に人がたくさん集まる池にしたい。

3 池の側面に入れる言葉を話し合う。（本時）

歴史と伝統に輝く TAKIGASHIRA

4 噴水の修理<業者連絡>着工！・池を施す！

・森川工業さんに依頼<予定>

・山田先生と協働でペンキ塗り開始！

1年間の学習を振り返ろう！（4時間）

1 1年間の活動を振り返る。

2 どんなことを学び、どんな力が身に付いたのか。

共有し合い、5年生への進級の期待や喜びを実感する。

<社会科から再発見>（18時間）

○「滝頭三十六景～滝頭カルタをつかって、滝頭の魅力を伝えよう！」

1 学区を東西南北4つの方面に分け、新たな「？（はてな）」を探しに、まち探検をする。

・気になった場所や看板、まちの様子をiPadに記録する。

・記録した画像を取捨選択し、カルタ制作に必要な情報を精選・吟味する。

市電保存館にいきなり行ったら見学させてもらえたよ。

第一交通機動隊ではパトカーや白バイに乗せてもらえたよ。

2 追究したい「人や自然、もの等」を選び、インターネットや図書資料（記念誌）等を使って、詳しく調べる。

かつて滝頭には路面電車が走っていたんだ。3年生が調べているよ。

どうして市電保存館ができたのかな？

3 調べたことをもとに、その魅力やよさ、特徴を表した読み札を作成する。

戦争や関東大震災の爪痕を調べたけど、読み札に要約するのは難しいな。

美空ひばりさんやゆずの読み札はどうしようかな？

4 読み札にリンクした絵札を作成する。

<図工との関連を重視>

千艘先生や山田先生に、描き方のコツを教えてください！

葛飾北斎の富嶽三十六景を参考にしてみよう！

5 実際に滝頭カルタで遊んでみる。

実際に並べてみたら、店や施設が多いことに気付いたよ。

この楽しさを全校の友達にも味わってもらいたいな。

6 滝頭カルタを「景観まちづくり学習助成事業」に出品する。

7 コンクールの結果を待っている間、放送室前で「滝頭三十六景展」を開催する。

全校にPRしよう！

校長先生もTV朝会で紹介してくれたよ！

商店街や学校のフェンスに掲示してもらえないかな？

8 滝頭リーフレットをつくる。

横浜こども科学館のリーフレットを活かそう！

滝頭の魅力？よさ？見どころ？おすすめスポット？は何か？

キャッチコピーやフレーズ、PR文を考えよう！

9 滝頭カルタやリーフレットを使って活動の様子や滝頭のよさを伝え、PRする。

今年の総合も楽しかったな。来年は何をしようかな。5年生でもがんばるぞ!!!

3年3組や5年3組さんに教えて、一緒に遊びたいな。

焼夷弾が落とされた跡が生々しく残っているね。

③実施内容について

|  |
|--|
| <p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>「滝頭三十六景～滝頭カルタをつくって、滝頭の魅力を伝えよう！」と銘打って活動をスタートさせた。「富岳三十六景」になぞらえて、滝頭の魅力的な場所を三十六景にまとめた。印象的な構図を iPad でたくさん撮影し、取捨選択した。さらには、その施設や場所の魅力が詰まった読み札を考えさせた。最後に三十六枚を並べ、実際にカルタ遊びを通して、滝頭の魅力について深く考えた。</p>             |
| <p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>特になし</p>   |
| <p>(3) 児童の反応</p> <p>助成金の存在は、伝えた。伝えることで、その使い道について子どもたちに考えさせた。金銭感覚を養い、その助成金自分たちだけのものではないことを自覚し、真剣に助成金で何ができるか子どもたちと深く考えることができた。</p>   |
| <p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>異動したばかりで、滝頭の地域についてほぼ知らなかった。子どもたちと東西南北、iPad を片手にまち探検を重ねることで、地域の様子や特色、魅力について、子どもたちと一緒に学ぶことができた。材の発掘、さらには新たな課題発見について大いに役立った。</p>   |
| <p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>滝頭の魅力について考え、伝えることは、何もこの一点だけに終わるものでなく、未来永劫、語り続けなければいけない。どの学年、どの学習活動においても滝頭カルタ（滝頭の魅力）にフィードバックできるようデータベース化したり、教職員間で共有したりして、練り上げ・積み重ねすることで、真の滝頭の魅力（故郷への愛着）が完成されるものとする。</p> |